



アスリートへの夢を育み、 スポーツの魅力を伝える。

「スケルトン競技の魅力は、体感速度300kmにもなると言われるスピード感。その興奮と集中力を極限まで高めた冷静さを、一分間の滑走時間の中で同時に体験できることですね」と話すのは、ソチオリンピックのスケルトン

十符人

「とふと」

「十符人(とふと)」では、毎月、利府の魅力づくりや魅力発信に貢献している方を取り上げていきます。

日本代表選手として活躍した小室希さん。大学入学後、「大学生からでも世界を狙えるスポーツ」という言葉にひかれ、ボブスレー・リュージュ・スケルトン部に入部。メキシコと頭角を現し、3年後には全日本スケルトン選手権大会で初優勝。2014年ソチオリンピックのスケルトン日本代表選手として活躍されました。運営側を



2014年ソチオリンピック・スケルトン日本代表選手

小室 希さん
公益財団法人 宮城県スポーツ協会
スポーツ推進部 競技スポーツ推進課 事業推進員

1985年生まれ・村田町出身

仙台大学入学後、ボブスレー・リュージュ・スケルトン部に入部。2006年、全日本スケルトン選手権大会で初優勝し、2014年ソチオリンピック・スケルトン日本代表選手として出場。2019年に現役を退き、4月より宮城県スポーツ協会に勤務。ジュニア世代のタレント選手発掘事業に携わる。



スケルトン競技で氷のコースを滑走する小室希さん

含めたあらゆる方々に支えられ、自分の夢をみんなの夢として『日の丸』を背負う誇りや喜びを経験できたことは、私の何よりの宝です」と話します。現在は宮城県スポーツ協会※2でジュニア世代のタレント選手発掘事業における「みやぎジュニアトップアスリートアカデミー」の運営に携わり、次世代のアスリートリーダー育成に尽力。「東京オリンピックでのサッカー競技が行われた『キューアンドエーススタジアムみやぎ』、そして『セキスイハイムスーパーアリーナ』と、トップアスリートと出会える施設がごく身近にあるのは、利府町の大きな魅力。町では女性アスリートの育成にも力を入れているんですよ。自然豊かな宮城県総合運動公園のウォーキングもぜひどうぞ」とお話しいただきました。

※1：スケルトン競技：氷で造られたコースを、鉄製のそりで頭を前にしてうつ伏せの状態ですり降り、そのタイムを競う競技。最高速度は時速140km以上。以前の国際ルールでは16歳以上から参加できる競技とされていた。 ※2：ジュニア世代のタレント選手発掘事業：トップレベルの大会で活躍できるジュニア選手を発掘・育成する様々な活動を実施。「みやぎジュニアトップアスリートアカデミー」では県内の小学4年生の男女各15名を選出し小学5年生～中学2年生を対象に様々なプログラムを実施している。(http://www.mspf.jp/)

令和5年利府町消防団出初式を開催しました

町民広場において新春恒例の出初式が1月7日(土)に開催されました。

コロナ禍に伴い、例年とは異なり規模を縮小しての開催になりましたが、式典では、永年にわたり消防活動へ貢献された方々へ表彰状が伝達され、消防団員をはじめ各参加者は、防火、防災活動への決意を新たにしました。その後、消防団による一斉放水が行われ、日頃の訓練の成果が発揮されました。

